

[様式 2]

平成 1 4 年度授業実践結果

学校名 多治見市立池田小学校

授業者等	授業日	1 4 年 1 1 月	学 年	5 年 生
	授業者	小池・松原	教 科	総合・国語科
	校種	小・中・高・特	単 元	地球を守ろう 未来の環境大臣
	ねらい	身近な環境に目を向け、自らできることを考え働きかける。		
授 業 の 流 れ	< 国語科題材「子ども環境会議」に向けての調べ学習 > ● 「子ども環境会議」のねらい ・自分の立場を明らかにして、自分の考えを話すことができる。 ・相手を納得させるために、根拠や理由を述べて意見を述べることができる。 ● 「子ども環境会議」の学習内容 - 国：説明文「一年が一秒をこわす」「ほたるの住む水辺」の要旨をとらえる。 - 国：議題「この環境を未来（30年後・60年後）に残せるかどうか」について、自分の意見を持つ。 - 総：環境会議に向けて、より説得力のある意見にするために、根拠・理由となる資料を本やインターネットエクスプローラー調べる。 - 国：「残せる・残せない」派に分かれて、話し合う。 ● 調べ方・調べた内容：総合 ○自分が知りたい環境について・環境問題について、調べる。 ・川のよごれについて ・海の生き物について ・ごみ問題・リサイクルについて ・森林の面積について ・絶滅の危機にある動物について ・大気汚染について ・地球の温暖化について ● 今後の方向 ○総合学習に関わって - 総合では、「環境」というテーマで取り組んでいる。今回、現在の地球規模での環境問題について調べ学習をし、様々な視点から環境について考えることができた。そこで、今後は、調べたことをもとに、身近な環境に目を向けて、自分達でできる環境保全について考えさせていきたい。			
考 察	一人ひとりが自分の課題を持って、意欲的に調べ学習をすることができた。しかし、調べたことで満足してしまい、資料・グラフの理解や読みとりができない児童がいた。自分にとって必要な資料を選び、読みとる力をつけていく必要がある。			